

## 建築夜楽校 2011 関連企画

### 「3.11 以後の日本」展

#### 主 旨：

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の規模の災害を日本にもたらし、国土の全般に渡る脆弱性を浮き彫りにしたといえよう。防災、エネルギー、コミュニティ、政治など、様々な分野における問題点が明らかになってきたが、それらは別の側面からいえば、東京への一極集中、地方都市の過疎化などを結果として促してきた国土計画のきしみが顕在化したものであるともいえる。

そこで本展覧会では、震災後の日本を設計するというコンセプトのもと、都市におけるリスクマネジメントの重要性や、行政及び地元関係者との連携を考慮した上で、建築家ができることをキュレートして提示する。この展示を通じ、3.11以後の建築家のもつ責務を社会に問う。

**会 期：**10月5日（水）～10月16日（日）9:00-19:00

**会 場：**建築博物館ギャラリー（東京都港区芝 5-26-20）

**入場料：**無料

**展示候補：**磯崎新、下河辺淳、豊川斎赫、ArchiAid、都市計画遺産研究会＋笑顔のかまいし応援隊

**問合せ：**日本建築学会事務局教育・普及事業グループ 三島

TEL 03-3456-2056 e-mail [mishima@aij.or.jp](mailto:mishima@aij.or.jp)